

## Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/12/04

### Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	31.90	-0.13
JPY/THB	0.2055	-0.0001
USD/JPY	155.25	-0.63
EUR/THB	37.24	-0.01
EUR/USD	1.1671	0.0046
USD/CNH	7.058	-0.009
SGD/THB	24.67	-0.03
AUD/THB	21.06	0.02
USD/INR	90.19	0.32
USD Index	98.85	-0.50

### Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.351	-0.030
10Y (THB)	1.679	-0.045
5Y (USD)	3.629	-0.026
10Y (USD)	4.063	-0.023

### Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	4,199.3	12.7
WTI (Oil)	58.95	0.31
Copper	11,487.5	342.5

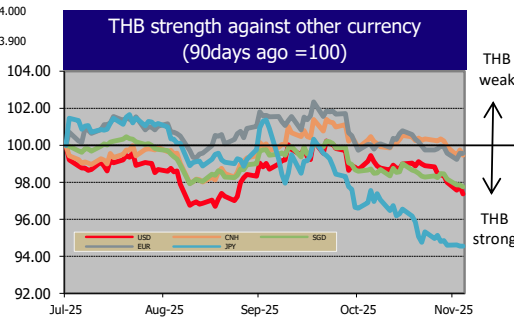
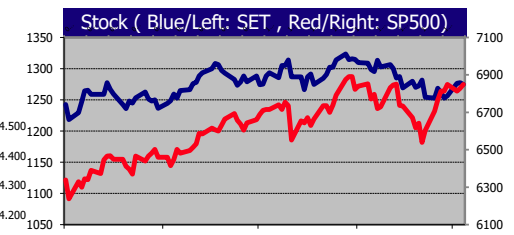
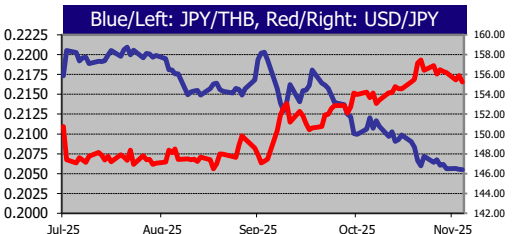
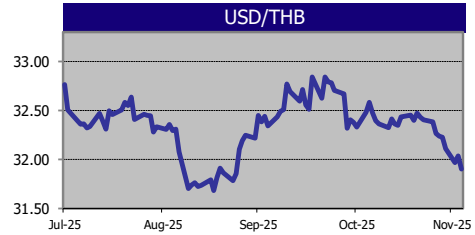
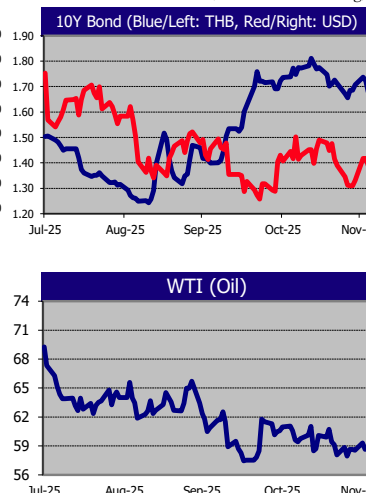
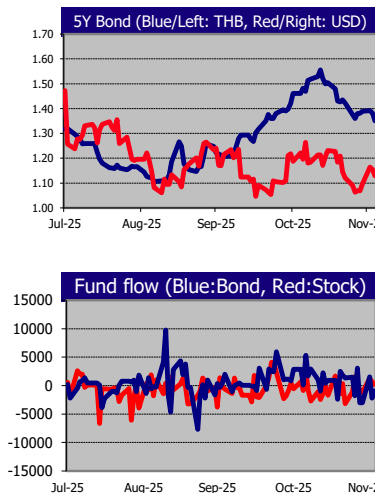
### Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,274.82	-2.76
NIKKEI (JP)	49,864.68	561.23
DOW (US)	47,882.90	408.44
S&P500 (US)	6,849.72	20.35
SHCOMP (CN)	3,878.00	-19.71
DAX(GER)	23,693.71	-17.15

### Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	229	-506.3
Bond net flow	(923)	1282.8

\*compared with previous day  
(Source: Bloomberg)



### Yesterday's market summary

#### ●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。32パーツちょうど付近でスタートしたドルパーツは、金価格の上昇もあってかパーツ買い優勢の展開。早々に32パーツを割り込むと、タイ11月CPIがヘッドラインで8カ月連続のマイナス(前年比)となったことが確認されるも流れは変わらず。ただ、バンコク時間正午頃に勢いは一服。以降、海外時間に入っても31パーツ台後半での推移が続き、そのまま31.90レベルでクローズを迎えた。

#### ●ドル円その他

昨日のドル円は下落。155円台後半の水準で取引を開始。特段の材料ない中ではあるものの、155円半ばまでじりじりと値を下げ、同水準で海外時間に入ると、米11月ADP雇用統計が前月比マイナスを記録したことや、米11月ISM非製造業景況指数の仕入価格が予想を下回ったことを受け、一時155円ちょうど付近まで下落幅を拡大させる展開に。その後、終盤にかけては下げ止まり、155円台前半まで戻すと、そのまま155.25レベルで引けた。

### Bangkok Dealer's Eye

足元、FRBによる12月利下げの織り込みが進む中で為替市場は総じてドル安地合いとなっているが、毎度のことながら円は他通貨対比では動きが弱い。このままいくと、2025年はドル安局面にもかかわらず円高が進まなかった一年、という評価になりそうだ。過去最大の貿易赤字を記録した2022年に比べれば円の需給は改善し、米国が利下げ、日銀が利上げという方向感のなかで名目ベースでの日米金利差も急速に縮まった。それでも円買いがたいして進まなかったことは、今後の円相場を占う上で覚えておきたい。その要因は様々あるが、一つは日米金利差が実質ベースではそれほど縮まらなかった点があるかもしれない。日銀はマイナス金利解除以降、二度の利上げを試みているものの、依然として実質金利が大幅マイナスであることに変わりはなく、加えて、今年後半は高市政権誕生により積極財政、リフレ政策が意識されるところとなり、インフレ期待が収まりにくい地合いであったことから、引き続き円で資産を持つインセンティブは生じなかった。どれだけFRBが利下げしようが、結局のところ日銀がタカ派とならないことには円の基調は変わらない可能性に留意したい。ここに来て日銀による12月利上げは、市場で8割程度まで急速に織り込まれるようになったが、それでも円買いの動きは鈍い。円相場の反転に向けては、利上げ後も日銀が打ち止め感を出さないようにすることが肝要となろう。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.